

(様式4)

平成 29 年度 健康日本 21 の推進に関する特別委員会 事業報告

1. 活動テーマ

「新しいニーズに対応した保健師活動の確立のため、部署横断的連携と協働により、健康日本 21 (第2次) の推進に寄与する。」

2. 目的

新しいニーズに対応した保健師活動の確立」のため、部署横断的連携と協働により「健康日本 21 (第2次)」の推進及び「地域包括ケアシステム構築」に寄与ことを目的に、先駆的に取り組んでいる自治体の保健師活動を調査し結果を情報発信する。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	4月22日	八重洲倶楽部	平成28年度活動報告、平成29年度活動計画 (4人)
2	5月12日	藤枝市	インタビュー調査 (3人)
3	5月13日	公衆衛生協会	藤枝市インタビュー調査まとめ 次回調査準備 (5人)
4	6月28日	朝霞市	インタビュー調査 (3人)
5	7月4日	朝来市	インタビュー調査 (3人)
6	7月8日	公衆衛生協会	朝霞市、朝来市インタビュー調査まとめ (5人)
7	8月5日	公衆衛生協会	調査研究活動まとめ 日本公衆衛生看護学会抄録検討 (5人)
8	10月7日	八重洲倶楽部	日本公衆衛生看護学会ポスター検討 (5人)
9	12月7日	ビジョンセンター 浜松町	地域・職域連携推進関係者会議 (1人)
10	12月9日	公衆衛生協会	日本公衆衛生看護学会ポスター検討 (5人)
11	1月7日	大阪国際会議場	日本公衆衛生看護学会発表 (1人)
12	2月10日	公衆衛生協会	平成29年度活動報告まとめ (5人)
13	3月8日	日本歯科医師会館	健康日本21推進全国連絡協議会 (1人)

4. 結果・課題

平成 28 年度に検討し日本公衆衛生看護学会倫理審査の承認を得た調査研究「部署横断的連携と活動により、新しいニーズに対応した保健活動確立のための研究～健康日本 21 の推進・地域包括ケアの推進～」について、平成 29 年度は全国保健師長会の会員に公募し、応募のあった 3 市にフォーカス・グループ・インタビューを実施した。調査研究結果は第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会で発表するとともに当会のホームページで報告し、全国自治体における保健活動の一助とする。

また、今年度は委員長が、日本看護協会の「健康寿命の延伸等に資する保健活動検討委員会（平成 29 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業）」委員として、調査研究活動に参加した。成果物は、「保健師のためのポピュレーションアプローチ必携」、「ポピュレーションアプローチにおけるプロセスとアセスメントの実際～効果的なポピュレーションアプローチに向けて～報告書」。

今後の課題として、健康日本 21（第 2 次）の推進は、全世代を対象にした地域包括ケアシステムの構築が必要となる。保健師が個人の行動変容とともに、環境づくりを支援する総合的な取組みを進めるために、PDCA サイクルで住民と協働ですすめるまちづくりについて委員会で検討していきたい。

6. 委員

○藤本 亜由美	大津市健康保険部保健所健康推進課膳所すこやか相談所
藁科 仁美	藤枝市健康福祉部地域包括ケア推進課
佐藤 尚美	川越市福祉部地域包括ケア推進課
望月 三枝子	朝霞市健康づくり部長寿はつらつ課
岡本 理恵	名古屋市北保健所保健予防課